



# スマイル

## 出前講座で福祉を学ぼう！

車イスの操作は  
どうやるの？

最近地震が多いね。  
防災のこと気になるなあ

親世代の介護のことや  
認知症のことを知りた  
いな

障がいて  
いろいろあるね

健康に暮らすた  
めに何が必要？



最近『フレイル』  
ってよく聞くけど  
何のこと？

『障がいのこと』『介護のこと』『老後のこと』『防災のこと』『福祉の制度のこと』など  
あなたの知りたいに応えます。

講師派遣無料

研修や学習会、自由研究に

対象

町内在住・在勤・在学の方

5名以上のグループ

自治会・子ども会・各種団体

講師

社会福祉協議会や  
包括支援センターの職員、  
関係団体会員

座学で

体験・実践で



《申込み先》

武豊町社会福祉協議会

TEL 0569-73-3104

※申込書への記入・提出が必要  
です。

申込書は窓口で受け取り、ま  
たは、右記コード  
からダウンロード  
してください。

詳細はコチラ→



## この人紹介

～ここでは元気に生き活きと

ボランティア活動に取り組んでおられる方をご紹介します～

### NO.17 伊神 弘子 さん(77歳) ～ボランティア活動で元気をもらう～

ボランティア活動を始めたきっかけは、主人が亡くなって独りになったことと、身体を壊してバイトをやめたことです。「家にこもってはいけないう」「私でも何かできることがあるかもしれない」と思い社会福祉協議会に相談に行きました。まず初めに切手やベルマークの収集ボランティアという活動をやらせてもらい、その後、くらし応援隊（日常生活のちょっとした困りごとのお手伝い）・配食サービスボランティア・見守り隊活動（傾聴



依頼者と話しながら作業  
～応援隊での一場面～

ボランティア) などにも参加して、かれこれ5・6年になります。活動を通して、“いろいろな人がいろいろな生活がある”ことを知り、それぞれがその環境の中で懸命に暮らしていると感じたことで“勇気”をもらい、“自分もがんばろう”“自分もちゃんとしなければ”と思うようになりました。また、同じ活動をするボランティアと顔を合わせる事、お話をすることも活動を続けられる源です。

あと何年できるかわからないけれど、やれることがあるうちはがんばりたいです。

## サークル紹介

～ここでは登録団体や個人の活動をご紹介します～

### 《インクルーシブ ダーツクラブ ～ダーツを通じた多世代交流～》

代表：鈴木 和則さん

ダーツと、子ども・高齢者・障がい者などはなかなかイメージが結びつかないと思います。しかし、ダーツは年齢・性別・障がいの有無等に関係なく誰もが一緒に楽しめる生涯スポーツであり、コミュニケーションツールでもあります。さまざまな人たちと一緒にダーツを楽しむことで相互理解を深め、『こころのバリアフリー』につなげたいと活動しています。



定期体験会の他、こども食堂、地域サロン、施設訪問やイベント等で体験の機会を作っています。

←ダーツを楽しむ様子

### 《リトルフット（大足子育て支援の会）～あそび場の提供などの子育てサポート～》

代表：細川 敦子さん

地域交流センターの多目的広場に乳幼児を連れて遊びに来た方に休憩スペースを作っています。子どもたちにはシャボン玉やおもちゃを用意してお待ちしています。ぜひ、遊びに来てくださいね。

子育て中の方へ、女性の視点を活かして作った防災ハンドブックをお渡ししています。依頼があれば、託児や防災の啓発をします。

活動日：毎月第2月曜日 9時30分～ 場所：地域交流センター 芝生広場



↑赤いポリが目印

## 協力感謝！令和5年度の収集結果

- ◇使用済み切手…約 4.8 kg
- ◇ハガキ(書き損じ含む)…611 枚
- ◆ベルマーク…36514. 4点(衣浦小学校・富貴中学校に寄贈)
- ◇ペットボトルキャップ…920 kg(約 395,600 個、ワクチン 460 人分)
- ◆雑巾・清拭布…併せて 2,393 枚(町内の福祉施設等 23 か所へ寄贈)
- ◇外貨募金…4,407 円相当のポイントに換算
- ※ 使用済みプリペイドカード…1,724 枚(現在回収しておりません)

4月1日発行のカルチャー&スポーツの掲載記事に誤りがありましたので訂正してお詫び申し上げます。

7. サークル紹介  
P21 おへその会 会費  
正) 月額 100 円  
誤) 月額 1,200 円